

南部・東部振興の主な取組

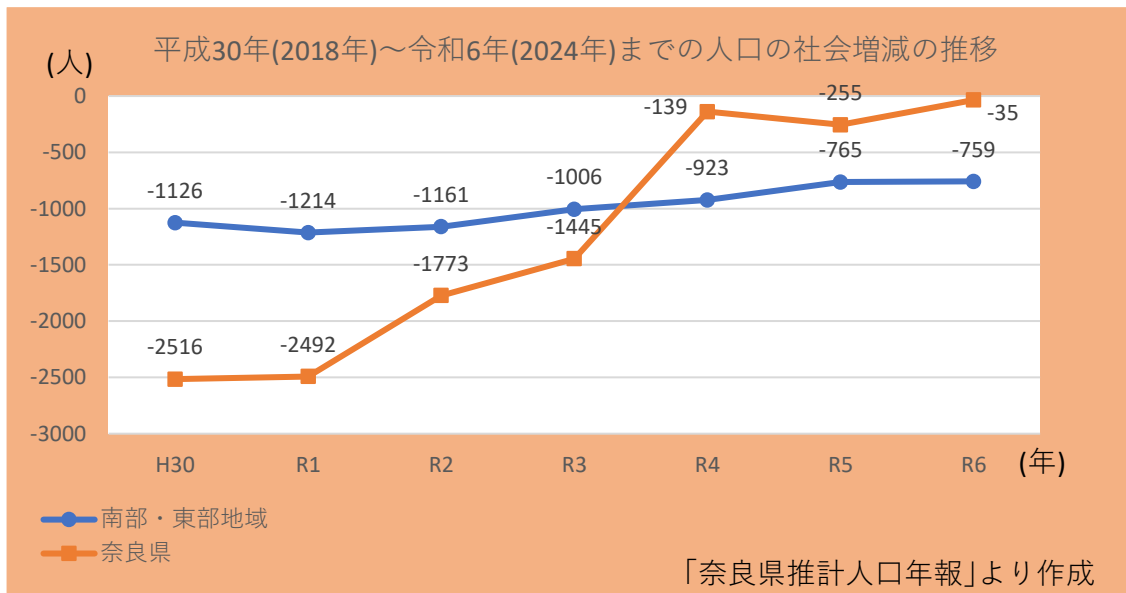
令和7年6月

奈良県



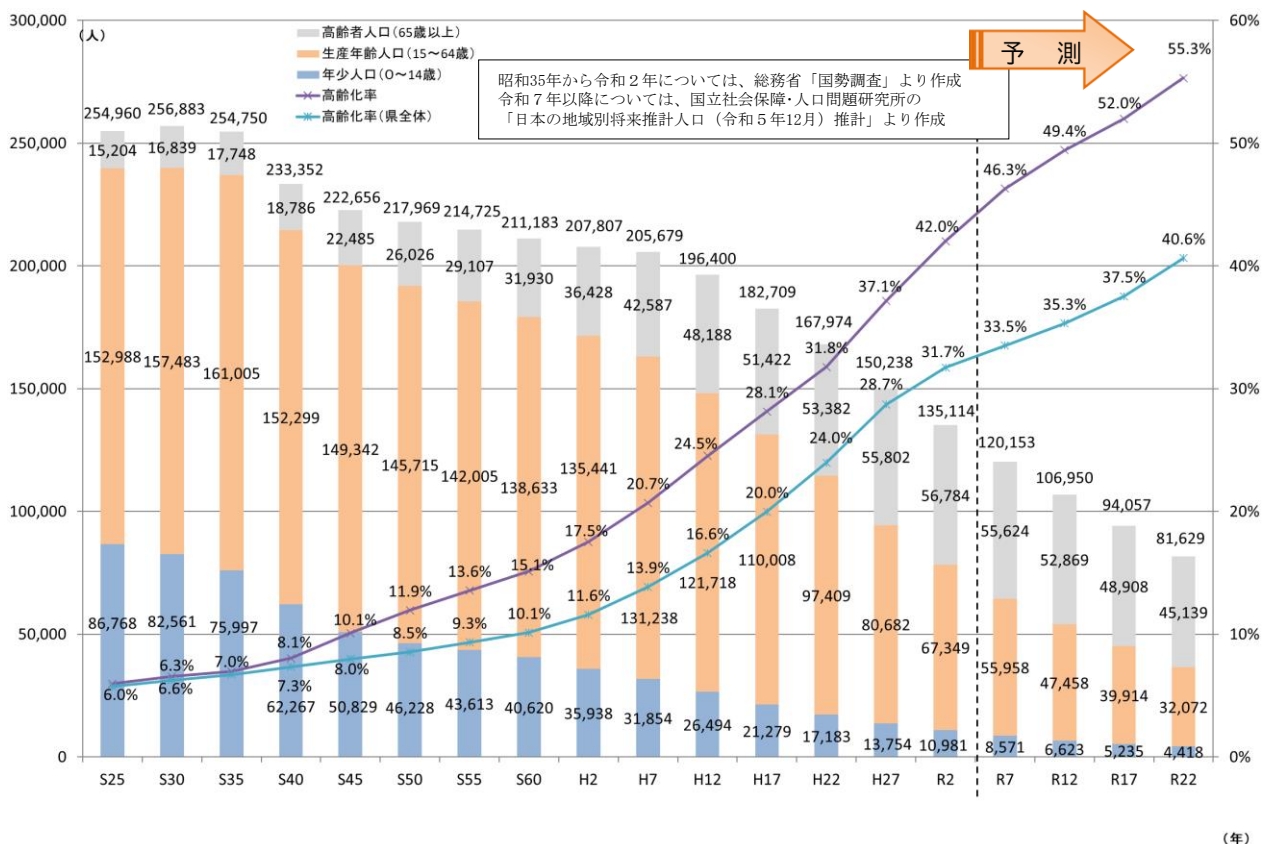
南部・東部地域の現状

平成30年（2018年）～令和6年（2024年）までの人口の社会増減の推移

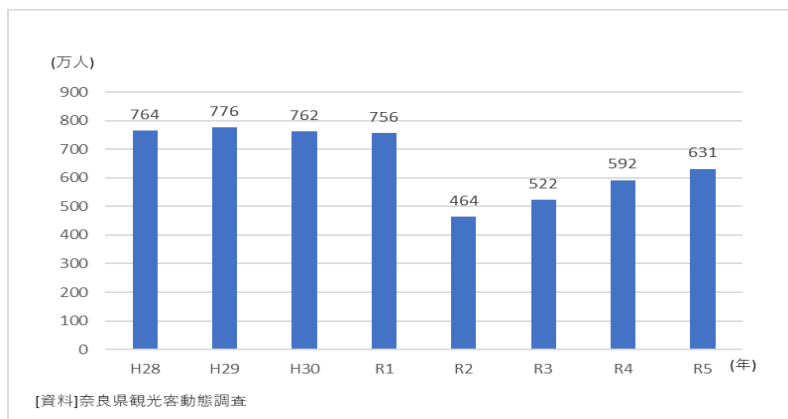


南部・東部地域において、社会的増減はゆるやかに改善しています。

南部・東部地域の人口推移

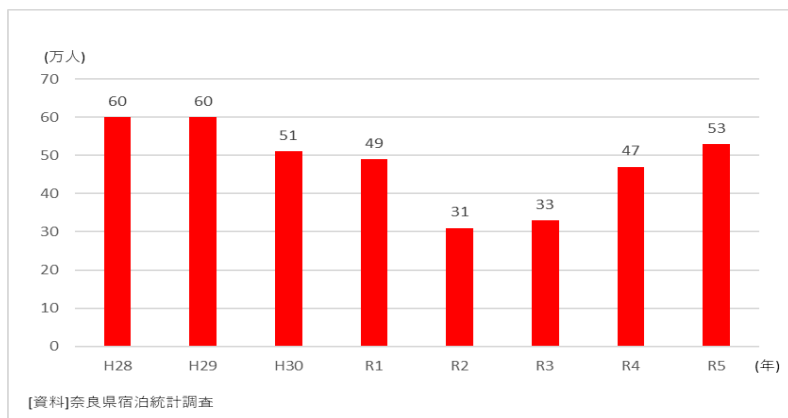


南部・東部地域における観光入込客数の推移



新型コロナウイルスの影響を受け、大幅に減少しましたが、令和3年以降は回復の傾向にあります。

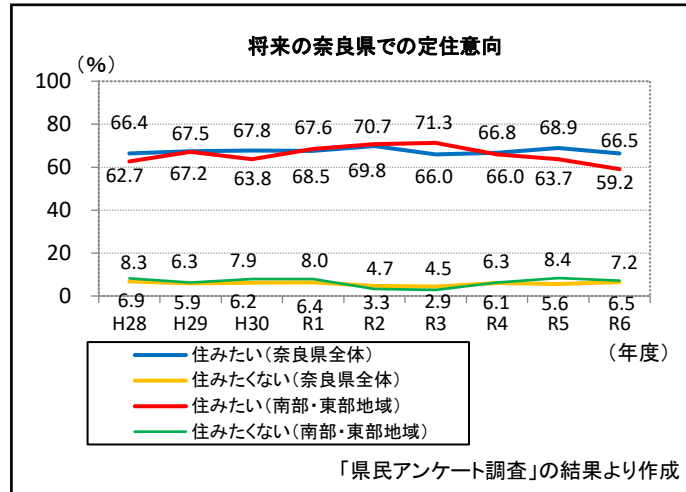
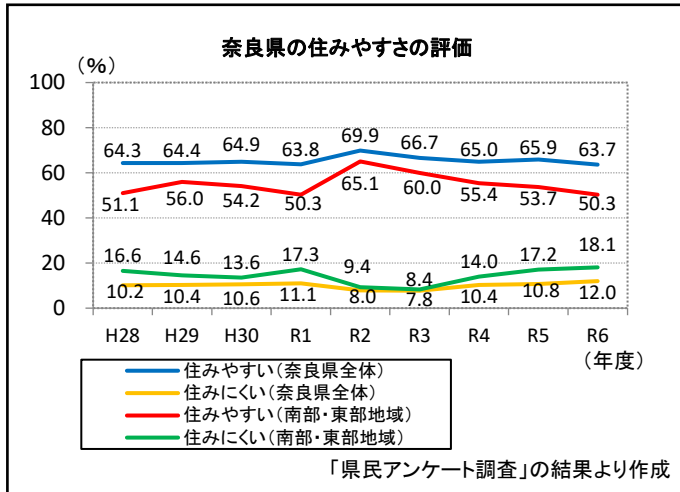
南部・東部地域における宿泊客数の推移



宿泊客数は、令和2年、令和3年は新型コロナウイルスの影響を受け、大幅に減少していましたが、令和4年以降は新型コロナウイルス前の宿泊者数に戻つつあります。

※本グラフは、資料内で区分されているC、D、E、Fエリアで集計しています。

南部・東部地域における生活に関する満足度



県民アンケート調査の「奈良県の住みやすさの評価」と「将来の奈良県での定住意向」を分析したところ、南部・東部地域に住む50%を超える県民が住みやすいと感じており、また将来も住みたいという意向があります。しかし、住みやすいと感じている及び将来住みたいと感じている南部・東部地域の県民の割合は減少しています。

住みたくない主な理由

- ・ 買い物など日常の生活環境が整っていない 約54.4%
- ・ 通勤・通学に不便 約53.3%
- ・ 災害を防ぐための対策が不十分 約39.3% 等

(参考) 住みたい主な理由

- ・ 緑などの自然環境が良い 約64.4%
- ・ 奈良県や身近な地域に愛着を感じている 約53.3%
- ・ 騒音・振動・大気汚染などが少なく周辺環境がよい 約52.2% 等

今後、南部・東部地域において、奈良県に力を入れてほしい分野

県民アンケートの「今後奈良県に力を入れてほしい分野」を分析したところ、南部・東部地域では、「インフラ整備」、「防災・危機管理」、「地域公共交通の確保」に力をいれてほしいという人の割合が県全体に比べて高くなっています。

力を入れてほしい主な分野

- ・ 福祉・介護の充実 (南部・東部地域約38.3%、奈良県全体約43.4%)
- ・ インフラ整備 (南部・東部地域約35.5%、奈良県全体約32.6%)
- ・ 医療の充実 (南部・東部地域約33.8%、奈良県全体約36.6%)
- ・ 防災・危機管理 (南部・東部地域約31.8%、奈良県全体約29.6%)
- ・ 地域公共交通の確保 (南部・東部地域約29.0%、奈良県全体約25.8%) 等

※本ページは、「県民アンケート」内で区分されている東部、南東部、南西部で集計し分析しております。

奈良県南部・東部振興基本計画

重点目標

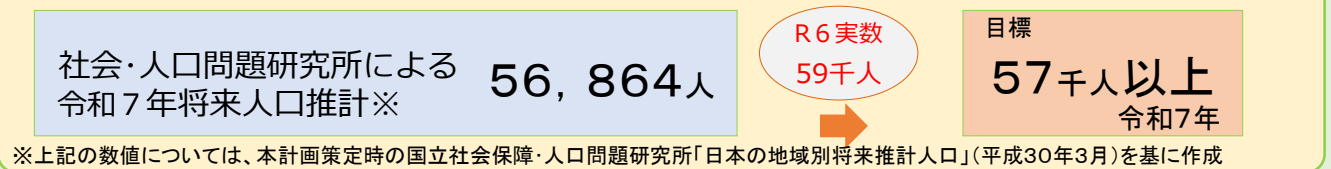
「誇らしい『都』づくり」の実現に向け、南部・東部地域において、住みよい環境づくりを進めるとともに、「働く場」と「働く人」を増やし、人口減少をくい止めることにより、地域の持続的発展を図ります。

- 重点目標を達成するためのK G I（重要目標達成指標）：令和7年度
「南部・東部地域における人口の社会増減」：マイナスからの脱却



- K G I を達成するためのK P I（重要業績評価指標）：令和7年度

生産年齢人口（15歳以上65歳未満）



観光入込客数



宿泊者数



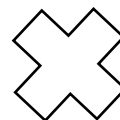
戦略の3本柱と戦術

戦 略（3本柱）

住み続けたい、還りたい地域づくり（定住の促進）

訪れてみたい地域づくり（交流の促進）

力強い市町村づくり



戦 術

拠点の形成

人材の育成・確保

(南部・東部振興関係)

令和7年度現計予算+令和6年度12月・2月補正予算
58,158百万円 (再掲を除く)

※ 令和6年度12月補正・2月補正とは、国補正に対応するための県の補正予算の額になります。

(参考) 令和6年度現計予算+令和5年度12・2月補正予算 **59,644百万円**
 ※令和6年度現計予算は、当初予算と6月補正予算の合計額です。

(南部・東部振興のための取組の戦略)

※以下の項目は再掲を含むため合計は上記と一致しません

戦略1 住み続けたくなる、還りたくなる地域づくり (定住の促進)

(1) 働きやすくする (P6)	13,408百万円
・地域経済の活性化 ・食・農・畜産・水産業の振興 ・森林環境管理制度の推進・林業の振興	
(2) 暮らしやすくする (P12)	2,125百万円
・福祉・医療の充実 ・教育・子育て環境の充実 ・道路インフラの整備促進 ・通信インフラの整備促進	
(3) いざというときに備える (P15)	38,902百万円
・防災・減災対策の推進	

戦略2 訪れてみたいとなる地域づくり (交流の促進)

(1) 魅力を知ってもらう (P21)	1,077百万円
・魅力の創出と情報発信の強化 ・美しい景観づくりの推進	
(2) 魅力を体験してもらう (P24)	16,362百万円
・滞在型・宿泊型観光の推進 ・地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施	
(3) 移り住んでもらう (P28)	104百万円
・市町村等と連携した移住・定住支援 ・若者をターゲットとした移住施策の推進	

戦略3 力強い市町村づくり

(1) 「奈良モデル」の実行 (P30)	607百万円
・市町村と連携したまちづくりの推進 ・「奈良モデル」の推進	
(2) 市町村行政経営向上への取組支援等 (P31)	2,360百万円
・市町村行政経営向上への取組支援 ・地域デジタル化の推進	

住み続けたい、還りたい地域づくり（定住の促進）

（１）働きやすくする

◇取組内容

- 地域経済の活性化 ○食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

【令和７年度 主な取組】

- ①御所IC工業団地整備事業【予算 746,000千円】
中南和地域の通勤圏内である京奈和自動車道御所インターチェンジ周辺雇用の場を創出する工業団地を整備。第１期及び第２期造成工事、埋蔵文化財発掘調査等を実施
- ②企業立地促進補助事業（南部・東部地域振興補助金）【予算 100,000千円】
南部・東部地域に立地する企業活力集積促進補助金の対象企業に対し南部・東部地域振興補助金を加算
・加算額 固定資産投資額 ５億円以上 10,000千円 10億円以上 20,000千円
- ③制度融資 創業資金（南部・東部枠）【予算 6,821千円】
融資限度額 設備・運転 15,000千円 融資利率 0.0%
融資期間 7年（うち1年据置） 保証料を県が全額負担
融資枠 2億
- ④【新】奥大和ものづくり推進事業【予算 1,900千円】
奥大和の地域産業のブランド力を向上させる特産品の新規関連商品やサービスの創出を目指し、奥大和地域で栽培される優良な漢方関連素材を利用した、食品分野、毛皮革分野での新たな製品の開発支援
- ⑤奈良県農産物等輸出推進事業【予算 41,281千円】
県産農産物等の海外への販路開拓を支援
・有望な輸出先国検索の取組
・輸出先国でのプロモーションの実施
・海外への販路拡大のための商談会の出展を支援
・輸出に取り組む人材育成のためのセミナー開催等
- ⑥鳥獣被害防止対策事業【予算 321,862千円】
被害防止計画に基づき市町村が実施する鳥獣被害対策を支援
・被害防除の研修、捕獲活動、緩衝帯整備等
・地域が一体となった侵入防止柵等の整備
集落ぐるみの被害防止対策活動の推進
- ⑦【新】ツキノワグマ動向把握事業【予算 10,000千円】
近年のツキノワグマの目撃情報増加に伴う、人身被害防止対策を強化
・保護された個体に、行動追跡用GPS首輪の装着並びに放獣後の追跡を実施

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（１）働きやすくする

◇取組内容

- 地域経済の活性化 ○食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

【令和７年度 主な取組】

⑧リーディング品目支援事業【予算 6,158千円】

本県農業を牽引するリーディング品目の産地生産力・品質向上、ブランド力強化、消費拡大を推進
・柿産地の課題解決に向け、省力化対策の普及や新品種の現地調査を実施
・茶の需要拡大を図るため、海外輸出向けの茶生産を支援

⑨チャレンジ品目支援事業【予算 1,996千円】

将来の成長品目として選定したチャレンジ品目の生産・流通・販売・組織化を支援
・切り枝花木の新規有望品目の導入や輸出促進に係る支援を実施
・大和野菜等産地の持続化に向け、気候変動等に対応可能な生産体系への転換を支援

⑩【新】新人猟師フィールド研修事業【予算 945千円】

狩猟免許新規取得者に捕獲技術に関する実践的な研修の実施

⑪県営畑地帯総合整備事業【予算 546,525千円】

県内の主要産地における、経営規模拡大、生産の効率化のため、パイプライン等を整備

⑫県営ほ場整備事業【予算 513,850千円】

農地の集積による規模拡大、高収益作物導入を促進するため、ほ場整備を実施

⑬多面的機能支払事業【予算 271,128千円】

・地域資源である農地及び農業用施設の適切な保全管理や多面的機能の維持
管理等を地域ぐるみで行う活動組織に対し、国の制度と連動し、交付金を交付
・農業生産資源の基礎的保全活動や多面的機能の維持・発揮を支える共同活動への交付

⑭奈良県フォレスターアカデミー運営事業【予算 166,192千円】

奈良県フォレスターアカデミーの運営管理

・外部講師の招へい、インターンシップの実施 ・森林教育カリキュラムの改善
・学生募集、オープンキャンパスの開催 ・集材システムの技術普及
・就業準備給付金の給付 等

⑮新たな森林環境管理体制導入推進事業【予算 41,303千円】

目指すべき森林への誘導や、奈良県フォレスターの配置等、森林の４機能を高度に発揮するための
取組を推進
・先行モデルとなる市町村の恒続林化計画策定の支援
・森林環境の維持向上に取り組む奈良県フォレスターを13市町村に配置

(1) 働きやすくする

○地域経済の活性化 ○食・農・畜産・水産業の振興
○森林環境管理制度の推進・林業の振興

林業への就業促進のため無料職業紹介所を運営し、新たな森林環境管理制度の構築・推進を担う新規就業者の掘り起こしや県内林業事業者等とのマッチングを実施

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（１）働きやすくする

R 6 年度
取 組

- 地域経済の活性化 ○食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

○御所IC工業団地の形成を推進

御所東高校跡地を対象とした第１期企業募集

○企業立地促進補助事業（南部・東部枠）

・交付実績 ２件



京奈和自動車道御所IC周辺

○ドローンの実証実験について

・令和6年11月から1か月間、宇陀市にてドローンを活用した物流実証実験を実施



ドローン飛行の様子

○制度融資 創業資金（南部・東部枠）

・実績 10件 飲食、サービス ほか

○奥大和製品の販路拡大を応援

JETRO（日本貿易振興機構）と連携した事業者向けワークショップの開催や、大規模見本市（東京インターナショナルギフトショー）に奥大和ブースを出展



東京インターナショナルギフトショー2025への出展

○漢方の推進

- ・薬用作物栽培の省力化支援、販路拡大支援等を実施
- ・キハダ葉、実を用いた漢方関連品・製品の研究を実施
- ・企業版ふるさと納税を活用したイベント開催や研究機器の充実

○国道169号線通行止めにかかる自動車燃料費支援事業

国道169号の崩土の影響を受けた事業者の事業継続を支援するため、下北山村・上北山村に事業所を有する中小企業者を対象に支援金を交付

○OGFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト推進事業

- ・イチゴを台湾に輸出する際の残留農薬基準に対応するための防除暦の検討
- ・台湾の小売店でのイチゴのテスト販売とニーズ調査を実施
- ・柿のタイへの輸出に向けた冷蔵輸送試験の実施
- ・タイの小売店での柿のテスト販売とニーズ調査を実施

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（１）働きやすくする

R 6 年度
取 組

- 地域経済の活性化 ○食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

○奈良県農産物等輸出推進事業

- ・マレーシア、シンガポール、ドイツへのイチゴ、柿等の輸送試験、ニーズ調査の実施
- ・香港でのイチゴ、柿のPR
- ・輸出に取り組む人材育成のためのセミナーの開催
- ・海外への販路拡大のための商談会の出展を支援

○首都圏等への県産農産物の販路拡大

- ・卸売市場、首都圏小売店での奈良の柿のPR
- ・高級果実専門店での消費喚起販売会の実施
- ・まほろば館での販売会・体験型イベントの実施
- ・首都圏のイチゴイベントでの県産イチゴのPR

○チャレンジ品目、リーディング品目等への支援

- ・花木：新規品目「ユーカリ」等の導入支援（1,047本）
- ・柿：摘蕾・摘果の省力化技術の実証（現地圃場2カ所）
- ・茶：米国向け輸出茶生産支援（6団体）、耕作放棄茶園再生マニュアルを作成
- ・アマゴ：産卵場造成、卵及び親魚の放流
- ・アユ：健全な種苗の養成及び放流



ユーカリ



ミモザ

○ツキノワグマ出没対応事業

- ・出没の未然防止（5月～3月）

集落周辺への出没を未然に防止するための誘因物の除去や隔離等の取組を支援

- ・出没時の対応（5月～3月）

集落付近等に頻繁に出没がある集落における、専門家による環境診断、対応柵の検討及び指導

○総合的な鳥獣被害対策の支援

- ・被害状況調査（4月～6月）
- ・若手狩猟者確保のための各種活動実施（4月～3月）
- ・各市町村が実施する鳥獣被害防止対策を支援（国交付金、県補助金）
- ・人材育成のための講習会開催（5月～3月）
- ・ならじびエ料理フェアの開催（12月～2月）
- ・狩猟免許試験の実施による狩猟者の確保（7月～12月）



捕獲現地研修

住み続けたいくなる、還りたくなる地域づくり（定住の促進）

（１）働きやすくする

R 6 年度
取 組

- 地域経済の活性化 ○食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

○農地マネジメントの推進

県、なら担い手・農地サポートセンター、市町村、農業委員会をメンバーとする農地マネジメントチームにより、担い手への農地のマッチング活動を実施

※南部・東部地域で116.9haのマッチングを実施



農地の貸し借り（マッチング）を実施する
農地中間管理事業制度をPR

○食用きのこの人工栽培技術の開発

バカマツタケの林内での定着ときのこの発生、試験地の継続調査



バカマツタケの林内での発生

○奈良県フォレスター派遣実績（９市町村９名）

奈良県フォレスターアカデミーで、県職員として学んだ森林管理職を、卒業後に市町村の要請を受けて、奈良県フォレスターとして同一市町村に長期滞在で派遣

R 5：五條市、吉野町、黒滝村、野迫川村、十津川村、川上村、東吉野村

R 6：御所市、山添村

○木材の利用、森林・林業の試験研究及び技術開発

恒続林化のための広葉樹造林技術に関する調査、キハダの木材利用など、９課題について調査・研究を継続的に実施



キハダの木材利用にかかる研究

○意欲のある素材生産者への施業提案

・施業提案森林において木材生産を実施

7団地・3市村（天理市・宇陀市・御杖村）

・森林経営管理制度に関する市町村支援を実施

全市町村 86回（うち南部・東部地域市町村 64回）

○県産材の利用促進

・木材関連展示商談会（東京都）への出展（1回）

・木材加工流通設備の導入を支援（3件）

・木造建築の設計・施工に携わる技術者養成講座の開催
（年間３回開催、計40人参加）



木材関連展示商談会における奈良の木のPR

○奈良県産スギ材を用いた楽器の開発

・スギ弦楽器を用いた県産優良材のPR活動（展示、演奏会など）

・民間での吉野スギを用いた楽器製作の支援

住み続けたい、還りたい地域づくり（定住の促進）

（２）暮らしやすくする

◇取組内容

- | | |
|--------------|--------------|
| ○福祉・医療の充実 | ○教育・子育て環境の充実 |
| ○道路インフラの整備促進 | ○通信インフラの整備促進 |

【令和７年度 主な取組】

① 支え合いの地域づくり推進事業【予算 18,331千円】

南和地域における「地域包括ケアシステム」の深化・推進に関する広域相談支援体制構築のモデル実施等

② ドクターヘリ運航推進事業【予算 369,804千円】

ドクターヘリ運航にかかる費用を補助

（補助対象：奈良県立医科大学附属病院、南奈良総合医療センター）

③ へき地医療拠点病院支援事業【予算 133,729千円】

へき地医療の充実に必要な拠点病院の運営や施設整備等を支援

（補助対象：南奈良総合医療センター、市立奈良病院、宇陀市立病院）

④ 自治医科大学運営費負担金【予算 129,800千円】

在学生 15人 卒業生 104人（現在47期生まで）

自治医大卒業医師等の派遣：へき地診療所等派遣人員 6人

⑤ へき地診療所医師確保支援事業（へき地診療所への人件費補助）【予算 7,565千円】

へき地診療所に勤務する医師に係る人件費（自治医大卒業医師等を除く）

（補助対象：山添村、曽爾村、御杖村、十津川村、川上村）

⑥ 南和地域公立病院整備支援事業【予算 111,924千円】

南和広域医療企業団による南和地域公立病院整備への支援

企業団構成市町村への起債償還金補助

⑦ 事業者協力型・広域自家用有償旅客運送調査検討事業【予算 70,800千円】

事業者協力型自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）事業を活用し、地域の特性に応じた最適な交通サービスの構築を実施

⑧ 複式学級編制基準の改善【予算 112,514千円】

複式学級を解消するため国の学級編制基準の標準を上回る県基準で小学校、中学校の教員を加配

⑨ 奈良県基幹公共交通ネットワーク確保事業【予算 246,161千円】

・利用目的に応じた交通サービスを確保するため、広域の路線バス等の運行を支援

・市町村の連携による複数市町村をまたぐコミュニティバス等の運行を支援

住み続けたい、還りたい地域づくり（定住の促進）

（２）暮らしやすくする

R 6 年度
取 組

- 福祉・医療の充実
- 教育・子育て環境の充実
- 道路インフラの整備促進
- 通信インフラの整備促進

○介護予防・日常生活支援の充実

- ・市町村職員の地域マネジメント力向上を支援するため、総合事業充実のノウハウを有するアドバイザーによる支援（研修・先進地視察・オンライン個別相談）を実施（うち南部・東部地域9市町村 17名参加）
- ・厚生労働省「地域づくり加速化事業」による伴走支援（野迫川村）

○東和及び南和の地域包括支援センターで構成する連絡会の運営支援

- ・東和連絡会（9市町村）1回 ・中和連絡会（8市町村）1回 ・南和連絡会（12市町村）7回

○地域ケア会議を活用して自立支援や地域課題の解決に取り組む市町村への支援

- 市町村における地域ケア会議の機能充実に向けた取組（多様な専門職の参画等）の支援を実施
研修会 県内26市町村を含む64名参加（うち南部・東部地域11市町村 20名参加）

○南和地域における地域ケアカンファレンス支援モデル事業

- 南和地域における複雑化・複合化した課題の解決に向けた広域相談支援体制の構築を進めるため、保健師・社会福祉士等による支援チームを新たに編成し、南和地域の市町村における困難事案等について、市町村とともに解決を目指して活動を実施

○ドクターヘリの運航

- ドクターヘリ出動件数 県全体 365件
（うち南部地域 176件、東部地域 56件）



ドクターヘリ

○自治医科大学運営費負担金

- 自治医科大学運営費にかかる費用を負担
在学生 15人 卒業生 104人（現在47期生まで）
自治医大卒業医師等の派遣：へき地診療所等派遣人員 6人

○へき地診療所医師確保支援事業

- へき地診療所に勤務する医師に係る人件費（自治医大卒業医師等を除く）を支援
実施主体：山添村、御杖村、十津川村、川上村

○南和地域公立病院整備支援事業

- 南和広域医療企業団による南和地域公立病院整備への支援
企業団構成市町村への起債償還金補助
補助額：111,437千円

住み続けたい、還りたい地域づくり（定住の促進）

（２）暮らしやすくする

R 6 年度
取 組

- 福祉・医療の充実
- 教育・子育て環境の充実
- 道路インフラの整備促進
- 通信インフラの整備促進

○公共ライドシェアについて

事業者協力型自家用有償旅客運送事業を活用し、地域の特性に応じた最適な交通サービスの構築を実施

- ・宇陀市内牧地域において「ノッカルおうだ」

実証運行開始（3月8日～）



「ノッカルおうだ」出発式

○複式学級編制基準の改善

県基準による教員の加配 小学校8校 中学校6校

○地域産業を支える人材の育成に必要な備品の整備

職業教育に必要な実習備品を整備

- ・御所実業高校 ドラフター一式



ドラフター一式（御所実業高校）
（※ドラフターとは、製図で用いられる机のこと）

○奈良県基幹公共交通ネットワーク確保事業

利用目的に応じた交通サービスを確保するため、広域の路線バス等の運行を支援

- ・奈良交通（株）16系統及び三重交通（株）2系統
- ・市町村内コミュニティバス等

市町村の連携による複数市町村をまたぐコミュニティバス等の運行を支援

- ・五條・十津川地域連携コミュニティバス（広域通院ライン）
- ・宇陀地域連携コミュニティバス（奥宇陀わくわくバス）
- ・南部地域連携コミュニティバス（R169ゆうゆうバス）

○奥大和デジタルメッセ2024の開催

住民等がデジタルサービスを体験できるイベントを開催

実施内容：eスポーツ体験、3Dプリンター体験、デジタル健康チェック 等

開催場所：KITO FOREST MARKET SHIMOICHI（下市町）

来客数：約650名



奥大和デジタルメッセ2024

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（３）いざというときに備える

◇取組内容

○防災・減災対策の推進

【令和７年度 主な取組】

①広域防災拠点（五條県有地）整備事業【予算 99,500千円】

南海トラフ地震等の大規模災害時に、応援部隊や支援物資等を迅速かつ円滑に受け入れるため、五條県有地を南部中核拠点として整備

②スマートハウス普及促進事業【予算 21,000千円】

緊急時のエネルギー対策及び省エネ対策のため、住宅等への創エネ・蓄エネ設備設置経費の一部に対し補助

③混交林誘導整備事業【予算 481,656千円】

施業が放置された人工林、気象災害等による被害を受けた森林及び伐採後の植生回復が困難な森林について、森林の防災機能の向上を図るため、小面積の伐採、広葉樹等の植栽、周辺の環境整備及び伐採木搬出を一体的に実施

・実施場所 御所市外20市町村（事業面積 263ha）

④治山事業【予算 987,000千円】

自然現象に起因する山地災害の復旧と未然防止のための施設整備、良質な水や安全な生活を確保するため、水源のかん養や国土保全機能が低下した保安林において森林整備等を推進

・山地治山 19ヶ所

⑤直轄道路事業費負担金（南部・東部）【予算 8,640,000千円】

京奈和自動車道建設、その他直轄事業

【事業実施箇所】

京奈和自動車道 大和北道路、大和御所道路

国道168号 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路（Ⅱ期）

国道169号 伯母峯峠道路、下北山村（前鬼～上池原）ほか

⑥道路・街路改好事業（南部・東部）【予算 3,752,567千円】

地域の安全・安心を支え、企業立地・観光振興等に資する道路整備の促進

【事業実施箇所】

国道309号 北角工区、国道425号 重里～迫西川工区

吉野室生寺針線、檀原新庄線、吉野東吉野線、五條吉野線、高野天川線、

赤滝五條線、下市宗桧線、上池原下桑原線 ほか

自治会等の道路改良要望のうち、用地の提供を受け、短期間で高い事業効果が期待できる小規模な道路改良の推進

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（３）いざというときに備える

◇取組内容

○防災・減災対策の推進

【令和７年度 主な取組】

⑦骨格幹線道路ネットワークの整備推進（南部・東部）【予算 2,804,890千円】

奈良県の活力を牽引する骨格幹線道路ネットワークの形成

【事業実施箇所】

国道168号 新天辻工区

国道169号 御所高取バイパス、高取バイパス

⑧道路改良等基礎調査（南部・東部）【予算 70,000千円】

道路網整備の必要性等の調査

⑨道路施設老朽化対策事業（南部・東部）【予算 5,023,037千円】

長寿命化修繕計画に基づく補修・修繕を実施

・国道309号千石橋外69橋

・国道168号助人トンネル外38トンネル

・国道166号ロックシェッド、国道169号前鬼ロックシェッド

⑩道路災害防除・応急対策事業（南部・東部）【予算 2,732,273千円】

道路斜面で崩壊等の兆候がある箇所や、斜面危険度、路線の重要度等を総合的に判断して対策を優先すべき箇所での崩壊・落石等の防災対策を実施

・国道168号外29路線

⑪道路舗装補修事業（南部・東部）【予算 3,502,196千円】

路面の破損が進行し、安全な通行に支障をきたす箇所の対策を実施

・国道168号外30路線

ならの道リフレッシュプロジェクト（舗装）

⑫橋りょう耐震補強事業（南部・東部）【予算 855,040千円】

緊急輸送道路の橋りょうの耐震対策を実施

・国道168号小原大橋他2橋

⑬道路施設点検・診断事業（南部・東部）【予算 459,900千円】

効率的・効果的な補修・修繕を実施するため、橋りょう、トンネル等の点検を実施

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（３）いざというときに備える

◇取組内容

○防災・減災対策の推進

【令和７年度 主な取組】

⑭道路施設管理事業（南部・東部）【予算 121,000千円】

豪雨等により被災した箇所のうち、地すべりの兆候がある地区において二次的な災害を防止（新）市町村と連携した県管理道路隣接地の支障木伐採

⑮河川改良事業（南部・東部）【予算 1,609,854千円】

南部・東部地域における治水安全度の向上を図るため、河川改良を実施
・紀の川、町並川外50河川

⑯直轄河川事業費負担金（南部・東部）【予算 1,397,994千円】

紀伊山系における大規模土砂災害対策等、紀の川における河川整備

⑰通常砂防事業（南部・東部）【予算 2,161,890千円】

砂防設備の設置により、土石流等による被害から人家等を保全
・補助事業 野迫川村池津川外39カ所
・単独事業 五條市生子町外7カ所

⑱土砂災害緊急安全確保対策促進事業【予算 50,000千円】

土砂災害特別警戒区域内の避難所等について、当該区域外への移転等を実施する市町村に対して補助

住み続けたい、還りたい地域づくり（定住の促進）

（３）いざというときに備える

R 6 年度
取 組

○防災・減災対策の推進

○奈良県災害応急対策（防災拠点）基本構想の策定について

大規模 災害発生時、広域防災拠点において、全国からの応援部隊や支援物資などを迅速かつ円滑に受け入れ、被災地へ展開することを目的として、本構想を令和 7 年 3 月に策定

○自主防災組織の活性化、防災教育・啓発の推進

地域住民の安全・安心を地域で守る自助・共助の推進

- ・自主防災リーダーの養成 研修修了者 254名
（うち南部・東部地域 14名参加）



自主防災・防災リーダー研修

○スマートハウスの普及を促進

緊急時のエネルギー対策及び省エネ対策のため、住宅等への創エネ・蓄エネ設備設置経費の一部に対し補助

- ・普及実績 199件 （うち南部・東部地域 6件）



○施業放置林の整備

・防災力の高い森林に誘導するため、地域の特性に応じた広葉樹等を植栽するとともに、周辺の間伐を一体的に実施

- （全体）県内20市町村 157ha （うち南部・東部地域18市町村 141ha）

○治山事業による復旧

- ・県実施箇所51カ所のうち49カ所完了、残り2カ所
- ・国実施箇所26カ所のうち13カ所完了、残り13カ所



民有林直轄治山事業 野迫川村桧股



復旧治山事業 川上村高原

(3) いざというときに備える

○防災・減災対策の推進

地域の安全・安心を支え、企業立地
観光振興等に資する道路整備の促進

国道309号 北角工区、国道425号
重里～迫西川工区、吉野室生寺針線、
檜原新庄線、吉野東吉野線、五條吉野線、
高野天川線、赤滝五條線、下市宗桧線、
上池原下桑原線 ほか

奈良県の活力を牽引する骨格幹線道路
ネットワークの形成

国道168号新天辻工区、
国道169号御所高取バイパス、
国道169号高取バイパス（ほか）

道路網整備の必要性等の調査

法面や路肩の道路防災対策の推進

【事業実施箇所】川津高野線（十津川村山天） ほか



住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（３）いざというときに備える

R 6 年度
取組

○防災・減災対策の推進

○道路施設の老朽化対策

橋りょう、トンネル等の老朽化対策を推進

【事業実施箇所】 橋りょう 国道169号 白川橋 ほか
トンネル 国道425号 白谷トンネル ほか



<道路施設の老朽化対策> 国道169号白川橋

○市町村管理道路施設の老朽化対策

市町村が管理する道路施設の点検・診断及び修繕工事を垂直補完・水平補完により支援

○河川改良事業

南部・東部地域における治水安全度の向上を図るため、河川改良を実施
紀の川、町並川 外54河川

○通常砂防事業

砂防設備の位置により、土石流等による被害から人家等を保全
補助事業 下北山村上池原 外46ヶ所
単独事業 五條市生子町 外7ヶ所

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（１）魅力を知ってもらう

◇取組内容

- 魅力の創出と情報発信の強化
- 美しい景観づくりの推進

【令和７年度 主な取組】

- ①産官学連携による魅力ある地域づくり支援事業【予算 50,000千円】
魅力ある地域づくりを進めるため、市町村と大学・研究室、民間事業者等が連携して取り組む事業に対し補助
- ②奥大和プロモーション事業【予算 29,571千円】
様々な媒体・手法を用いた奥大和の魅力発信
・奥大和の自然や歴史、風土や生活文化等の発信
・鉄道事業者と連携して奥大和のプロモーションや旅行商品の造成等を実施
連携先 近畿日本鉄道、JR西日本
- ③万博を契機とした奥大和への周遊型観光促進事業【予算 7,994千円】
2025年大阪・関西万博の開催に合わせ、訪日外国人旅行者を奥大和地域へ誘客するため、地域資源を活かした体験型コンテンツのプロモーション等を実施
- ④【新】うだの魅力創出事業【予算 2,941千円】
こどもや子育て世代が楽しめるフォトスポットの設置や夏休みイベントの実施により、うだ・アニマルパークの新たな魅力を創出
- ⑤飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑地整備活用事業【予算 211,900千円】
世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」の主要構成資産である「史跡飛鳥宮跡」及び「史跡・名勝飛鳥京跡苑池」について、発掘調査の成果を踏まえた復元整備により史跡を可視化し、説明力向上と来訪者の利便性向上をはかる
- ⑥世界遺産登録推進事業【予算 144,124千円】
「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録の推進や、認知度向上及び登録の機運醸成、来訪者の期待に応える情報提供・受入体制の充実の推進
- ⑦「吉野・高野・熊野の国」三県共同事業【予算 1,332千円】
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を活用し、三重県・和歌山県とともに誘客のための共同事業を実施
- ⑧観光地域づくり推進事業【予算 79,000千円】
県内における実践的かつ効果的な観光地域づくりを推進
・県内重点エリアを対象とした観光地域づくりを実施
・国連世界観光機関（UN Tourism）と連携し、地域で行う持続可能な観光地域づくりに関する取組を促進
- ⑨【新】奈良のおいしい食の見える化事業【予算 10,000千円】
農産物直売所から飲食店への県産農産物等の配送ネットワーク構築とモデル実証

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（１）魅力を知ってもらう

R 6 年度
取 組

○魅力の創出と情報発信の強化

○美しい景観づくりの推進

○産官学連携による魅力ある地域支援

魅力ある地域づくりを進めるために、市町村が大学・研究室、民間事業者等と連携して取り組む事業に対して支援

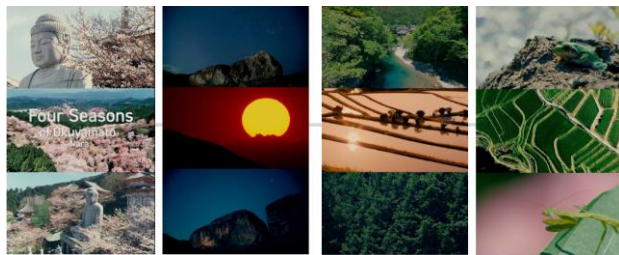
支援先：15市町村（うち南部・東部13市町村）

○奥大和地域の魅力を発信

奥大和地域の認知度向上のため、ファミリー層やインバウンドなど4種のターゲットに向けた動画を制作しYouTubeやSNS等で発信



ファミリー層向け YouTube動画



インバウンド向け SNS用動画

○万博を開催を契機に奥大和への周遊型観光を促進

- ・地域の観光事業者等を対象にした訪日外国人受入セミナーの開催
- ・地域資源の洗い出しと体験型コンテンツの造成
- ・旅行会社や通訳ガイドを招請したFAMトリップの実施



体験型コンテンツブック

○うだ・アニマルパークの誘客促進

関係人口の増加を図るため、県東部地域の魅力を活かしたイベントを開催

- ・「ほんのりあんどん」 10月19日～ 20日 来園者2,000名
- ・「ぱくぱくパーク」 11月24日 来園者2,000名
- ・「マルシェド・ママン」 3月9日 来園者2,500名
- ・「わくわく春色day」 3月20日 来園者1,200名



ほんのりあんどん（うだ・アニマルパーク）

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（１）魅力を知ってもらう

R6年度
取組

○魅力の創出と情報発信の強化

○美しい景観づくりの推進

○世界遺産登録事業

「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録を目指し、以下の取組を実施

- ・世界遺産登録に必要な推薦関係書類の作成
- ・認知度向上及び機運醸成のためのイベントの開催や写真集の出版、パンフレットの多言語化 等



写真集

○観光情報発信

吉野大峯世界遺産登録20周年を記念して金峯山寺の出開帳的イベントを東京で開催
首都圏から県中南部への誘客を促進

行政だけではなく地元企業の協力のもと開催することで地域総出での機運醸成とした

■開催日：令和6年8月9日(金) ■会場：日経ホール（東京都千代田区）

＜ホールイベント＞

1. 金峯山寺行事「とも祈り」
2. トークセッション「平安時代の奈良」
3. 「いざいざ奈良」CM出演者によるビデオメッセージ
4. 映像と音楽「映像詩 祈りの桜」
5. 金峯山寺行事 節分会・鬼の調伏式

＜ロビーイベント「奥大和マルシェ」＞

吉野町、十津川村、天川村の名店や奈良県アンテナショップが集結し、
柿の葉寿司や和菓子、ジェラート、地酒など地元の名産品を販売



○三村の「食」応援事業

国道169号線等の崩土による影響が特に大きかった下北山村、上北山村、川上村の食材や特産品の活用促進を図る。

- ・販売協力店舗（県内10店舗）にて、3村の食材等の販売・PRを実施
- ・県内飲食店で3村の食材および加工品の活用
- ・3村の特産品を販売・PRするマルシェ・イベントへの参加
七タマルシェ（7月6～8日、@レンタルスペースkimidori）
奈良県食農博（10月5～6日、@奈良県庁回廊）
WIGSPECIAL LUNCH（10月13日、@ミチノ・トゥールビヨン）
推し柿の葉寿司を探せ（11月24日、@なら歴史芸術文化村）
下北春まなSpecial Lunch（1月26日、@菜宴）



推し柿の葉寿司を探せ（@なら歴史芸術文化村）

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（２）魅力を体験してもらう

◇取組内容

- 滞在型・宿泊型観光の推進
- 地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施

【令和７年度 主な取組】

①奥大和アウトドア・スポーツツーリズム推進事業【予算 47,686千円】

- 奥大和の豊かな自然環境を活かした取組を実施
- ・トレッキングルートやサイクリングルート等の発掘・整備や、アウトドアアクティビティの普及に向けたプロモーション、スポーツ合宿の誘致等を実施
- ・「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングイベントの開催

②奥大和プロモーション事業【予算 29,571千円】

再掲

- 様々な媒体・手法を用いた奥大和の魅力発信
- ・奥大和の自然や歴史、風土や生活文化等の発信
- ・鉄道事業者と連携して奥大和のプロモーションや旅行商品の造成等を実施
- 連携先 近畿日本鉄道、JR西日本

③サイクルスポーツイベント開催支援事業【予算 1,291千円】

- サイクルスポーツや地域振興を図るため、地勢等を活かしたスポーツイベントの開催経費の一部を負担

④「うまし奈良めぐり」推進事業【予算 11,400千円】

- 全国からの誘客を促進するため、奈良でしか体験できない高付加価値旅行商品を造成し、全国の旅行会社等で商品販売を展開
- ・県内社寺等における特別企画イベントの実施
- ・鉄道事業者やW E B等の広報媒体を活用した広域広報

⑤【新】食と農のネットワーク推進事業【予算 5,000千円】

- 「食」や「農」を通じた地域のネットワーク化を推進し、奈良の食の魅力を発信
- ・ネットワーク会議や現地ワークショップの開催
- ・食と農の魅力やコンテンツを紹介するパンフレット制作

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（２）魅力を体験してもらう

R 6 年度
取 組

- 滞在型・宿泊型観光の推進
- 地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施

○宿泊施設への支援

県内の既存宿泊施設の増築・改築及び設備を設置する宿泊事業者に対し利子補給補助



宿泊施設増改築・設備整備支援資金
活用事例（川上村）

○奥大和でのアウトドア・スポーツツーリズムを推進

奥大和地域でアウトドアアクティビティやスポーツツーリズムを戦略的・計画的に推進するため、アウトドアブランドのモンベルグループと連携し以下の取組を実施

- ・トレッキングやサイクリングルートを発掘・調査し、「ジャパンエコトラック奥大和」として登録
- ・メディアトリップを実施し、アウトドア関連の媒体での情報発信
- ・アウトドアスポーツツーリズム推進を担う人材育成プログラムの実施
- ・機運醸成イベントの開催 等



ジャパンエコトラック奥大和

アウトドア雑誌への記事掲載

○鉄道事業者と連携し、奥大和地域の魅力を発信

近畿日本鉄道との連携

- ・室生、吉野山を目的地にした、日帰り、宿泊の旅行商品の造成、販売
- ・旅行商品のポスター及びチラシの制作
- ・あべのハルカス及び大阪阿部野橋駅構内で奥大和フェアを開催
- ・広報物の近鉄駅構内掲出



電車内での奥大和フェア

JR西日本との連携

- ・五條、御所を目的地にした、日帰り旅行商品の造成、販売
- ・旅行商品のパンフレット及びデジタル広告等の制作
- ・京都駅地下ポルタ内で奥大和フェアを開催
- ・JR大阪駅、新大阪駅、三宮駅、京都駅等でのデジタルサイネージへの掲出



JR 日帰り旅行商品

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（２）魅力を体験してもらう

R 6 年度
取 組

- 滞在型・宿泊型観光の推進
- 地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施

○サイクルスポーツイベント開催支援事業

奥大和地域において、豊かな自然、起伏に富んだ地勢、良好な景観など、魅力的な観光資源を活用し、だれもが楽しめるサイクルイベントを開催

・ヒルクライム大台ヶ原since2001（９月７日～８日）

場所 上北山村（大台ヶ原ドライブウェイ）

参加者 501名



ヒルクライム大台ヶ原since2001（上北山村）

○社寺等と連携した周遊の促進

滞在型周遊型観光の拡大に向けた取組を展開

・「祈りの回廊」パンフレット、スマートフォンアプリ等により、南部・東部地域への誘客を促進



祈りの回廊

○「うまし奈良めぐり」推進事業

奈良を楽しむ特別企画（うまし奈良めぐり）を開催

・壺阪寺（6月～2月）

（その他実施）



壺阪寺 大雛曼荼羅
(2月11日)雛人形飾り

上記画像は個人、団体プラン合わせて40以上の企画プランの一例

○奈良県観光データ活用促進事業

県内観光業界においてデータを活用した効果的な観光振興とその機運醸成を図ることを目的とし、奈良県の観光データを「見える化」するポータルサイト「みるなら」を構築。また構築後は、県内観光事業者・団体及び自治体等を対象に、操作説明会（計２回）・活用勉強会（計５回）実施し、延べ140名程度参加

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（２）魅力を体験してもらう

R 6 年度
取 組

- 滞在型・宿泊型観光の推進
- 地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施

○農村資源を活用した農村地域づくり

農村景観や特産物など魅力ある地域資源を活用した活動団体
に対して、以下の内容を実施

- ①研修会の開催
- ②情報発信
- ③活動の支援

○ガストロノミー推進事業

農泊PRパンフレット「奈良の食と農をめぐるガイド」の制作（日・英版）

農泊（ガストロノミーツーリズム）推進ネットワーク会議での研修会の実施

農泊施設先進事例視察の実施



農泊施設先進事例視察
（宇陀市）

○奥大和ガストロノミーツーリズム事業

ガストロノミーをテーマに、奥大和地域のポテンシャルを活かしたツーリズムや
関係人口創出イベント等を開催

実施市町村：山添村、吉野町、下市町、川上村

○光熱費等高騰対策事業（宿泊施設）

電力・ガス・食料品等価格高騰の影響を受けている県内宿泊事業者を支援。なお、国道169号の崩土により、影響を受けた下北山村及び上北山村の宿泊施設に対しては、支援金額を上乗せして実施

○三村宿泊等促進キャンペーン事業

国道169号の崩土により影響を受けた下北山村、上北山村、川上村の参画宿泊施設を利用した宿泊プランの割引を「奈良県 3 村（下北山村・上北山村・川上村）応援 旅行割」として、実施

【実施期間】

- ・第1弾（先行）：令和6年5月24日（金）～6月30日（日）
- ・第2弾：令和6年7月1日（月）～8月31日（土）

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（３）移り住んでもらう

◇取組内容

- 市町村等と連携した移住・定住支援
- 若者をターゲットとした移住施策の推進

【令和７年度 主な取組】

①【新】大都市圏での移住相談拠点設置及び情報発信・プロモーション等展開事業

【予算 20,247千円】

大都市圏での情報発信・相談拠点の設置

・東京、大阪での移住情報展示ブース・相談拠点の設置

大都市圏での移住・就労セミナー、プロモーションの充実強化

・東京及び大阪での移住・就労セミナーの開催

・移住フェア（東京・大阪）への出展等

②奥大和移住定住促進事業【予算 35,841千円】

奥大和地域の移住相談体制や地域受入体制、移住者拠点施設等の整備を進めることにより、移住・定住を促進

・奥大和地域19市町村と協働で設置した「奥大和移住・定住連携協議会」で統一的な移住・定住施策を実施

・奥大和地域の暮らしや人々との関わりを体感する移住体験プログラムの実施

③ engawa運営事業【予算 10,532千円】

奥大和地域の移住定住支援の拠点として、奥大和移住定住交流センターengawaを運営

④奥大和雇用創造促進事業【予算 21,297千円】

新規事業開拓及び雇用創出、販路拡大を促進するためのセミナー等の実施

・デジタル人材の育成プログラム

・奥大和地域での学生就業支援プログラム

・奥大和ブランド力の向上プログラム

⑤新たな森林環境管理制度担い手確保事業【予算 1,300千円】

再掲

林業への就業促進のため無料職業紹介所を運営し、新たな森林環境管理制度の構築・推進を担う新規就業者の掘り起こしや県内林業事業者等とのマッチングを実施

⑥制度融資（創業資金（南部・東部枠））【予算 6,821千円】

再掲

融資限度額 設備・運転 15,000千円 融資利率 0.0%

融資期間 7年（うち1年据置） 保証料を県が全額負担

融資枠 2億

⑦農業新規参入者支援事業【予算 4,274千円】

新規就農希望者に対し、なら食と農の魅力創造国際大学校での基礎研修及び農家受入による実践研修を実施

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（３）移り住んでもらう

R 6 年度
取 組

- 市町村等と連携した移住定住支援
- 若者をターゲットとした移住施策の推進

○奥大和地域を体感する移住体験プログラムを実施

- ・奥大和地域内の４つのエリアで移住体験プログラムを実施

参加者 上北山村 ２名・五條市 ２名・野迫川村 １名・天川村 ２名 計 ７名



移住体験の様子



奈良まほろば館でのワークショップ

○奥大和移住・定住連携協議会の運営

- ・奥大和地域の各市町村職員と協働で、東京の奈良まほろば館及び大阪ふるさと暮らし情報センターにおいて奥大和地域に関心を持つ方向けのワークショップ、交流・移住相談イベントを実施
- ・奥大和地域の観光情報や地域の、暮らし・営み・取り組み等をWEB記事やSNSなどで広く発信



SNSでの情報発信

○奥大和移住定住交流センターengawaを拠点にしたプログラムの実施

engawaを拠点に、地域活力の向上や移住定住支援、地域課題解決にむけたプログラムを実施

- ・移住相談活性化支援プログラム

大阪での出張移住相談会や市町村職員向けの移住相談スキル向上講座を開催

- ・奥大和コミュニティマネージャー育成プログラム 参加者 12名

奥大和の地域活性やビジネス創出の旗振り役となる人材を発掘・育成するための伴走型支援等を実施
参加者 12名

- ・学生向け奥大和体験プログラム

都市圏の大学生を対象にした奥大和体験プログラムを全６回実施

参加者 33名



奥大和移住定住交流センター「engawa」



育成プログラムの様子

力強い市町村づくり

(1)「奈良モデル」の実行

◇取組内容

○市町村と連携したまちづくりの推進

○「奈良モデル」の推進

【令和7年度 主な取組】

①市町村とのまちづくり連携推進事業（南部・東部地域）【予算 19,085千円】

まちづくりを進めている市町村と段階的に連携協定を締結し、協働してまちづくりを推進するため、市町村の取組を支援

・五條市、御所市、宇陀市、山添村

②都市計画区域等のあり方検討事業【予算 17,434千円】

人口減少などの社会情勢の変化に応じ、土地利用制度の基準等について改定作業を行い、令和7年度中に運用を開始

③簡易水道等整備推進事業【予算 86,087千円】

簡易水道等整備推進事業

・市町村が整備する簡易水道事業等の公債費に対し補助
対象市町村 十津川村外12市町村

簡易水道災害復旧事業

・紀伊半島大水害による簡易水道施設等の災害復旧事業の公債費に対し補助
対象市町村 天川村、野迫川村

④ごみ処理広域化奈良モデル推進事業【予算 275,922千円】

行財政運営の効率化及び安定的なごみ処理の継続を図るため、複数市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備を支援

⑤奈良県フォレスターアカデミー運営事業【予算 166,192千円】

再掲

奈良県フォレスターアカデミーの運営管理

・外部講師の招へい、インターンシップの実施
・森林教育カリキュラムの改善
・学生募集、オープンキャンパスの開催
・集材システムの技術普及
・就業準備給付金の給付 等

⑥新たな森林環境管理体制導入推進事業【予算 41,303千円】

再掲

目指すべき森林への誘導や、奈良県フォレスターの配置等、森林の4機能を高度に発揮するための取組を推進

・先行モデルとなる市町村の恒続林化計画策定の支援
・森林環境の維持向上に取り組む奈良県フォレスターを13市町村に配置

力強い市町村づくり

(2) 市町村行政経営向上への取組支援等

◇取組内容

○市町村行政経営向上への取組支援

○地域デジタル化の推進

【令和7年度 主な取組】

①市町村振興資金貸付事業【予算 2,000,000千円】

- ・市町村が住民福祉の増進等を図るために行う事業に対する貸付
貸付対象 一般地域振興事業、広域振興事業、過疎・辺地等振興事業、県重点施策支援事業、公債費適正化事業
- ・県と財政健全化の推進に関する協定を締結した市町村に対する貸付

②美しい南部・東部地域振興推進事業【予算 10,450千円】

- 県と市町村が協働して地域の課題の解決方法や具体的な取組等を調査・検討し、南部・東部地域の振興を図る施策を推進
 - 南部・東部サミットの開催
 - (新) 南部・東部振興基本計画等の更新
 - (新) 集落の課題解決に向けた状況調査

③南部・東部地域の市町村職員等人材確保・育成事業【予算 5,000千円】

- 「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」に基づき、市町村が抱える人材確保・育成にかかる課題を共有し、施策策定等のスキル向上や専門職員向けの研修会を開催

④地域デジタルデバイド対策支援事業【予算 4,500千円】

- 奈良デジタル戦略に掲げる、県民のデジタルデバイド解消を目指し、地域住民の課題解決につながるデジタル技術の活用によるサービス利便性の向上や安全安心の確保を誰もが享受できるよう、南部・東部市町村を主とした高齢化率の高い地域のデジタル化に取り組む市町村を支援

⑤携帯電話等エリア整備事業【予算 26,623千円】

- 採算性の問題により民間事業者が単独では整備することが困難な地域において、市町村が行う携帯電話等エリア整備事業に要する経費の一部を補助

⑥地域デジタル人材バンク運営事業【予算 1,500千円】

- 市町村等の求めに応じて、デジタル化に関する多様なニーズに対応した指導・助言ができるアドバイザーを派遣する地域デジタル人材バンクの運用

⑦情報連携基盤による行政サービスの変革推進事業【予算 311,357千円】

- 情報連携基盤（奈良スーパーアプリ）の運用及び利活用の拡大、情報発信力の強化

力強い市町村づくり

(1) 「奈良モデル」の実行 (2) 市町村行政経営向上への取組支援等

R6年度
取組

- 市町村と連携したまちづくりの推進
- 市町村行政経営向上への取組支援

- 「奈良モデル」の推進
- 地域デジタル化の推進

○南部・東部市町村とのまちづくり連携協定に基づくまちづくりの推進

南部・東部地域における個別協定締結市町村

(1市 2事業) 宇陀市(2事業)

○都市計画区域等のあり方検討事業

人口減少などの社会情勢の変化に応じた今後の都市計画区域等のあり方を検討

○簡易水道等整備推進事業

簡易水道等整備推進事業

- ・市町村が整備する簡易水道事業等の公債費に対し補助

対象市町村 十津川村外12市町村

簡易水道災害復旧事業

- ・紀伊半島大水害による簡易水道施設等の災害復旧事業の公債費に対し補助

対象市町村 天川村、野迫川村、川上村

○ごみ処理広域化奈良モデル推進事業

行財政運営の効率化及び安定的なごみ処理の継続を図るため、複数市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備に対し補助

○南部・東部地域の市町村職員等人材確保・育成事業

市町村職員の専門人材を確保し、職員が能力向上を図るための取組を実施

【ドローン講習会】

- ・デモンストレーション飛行（農業用・物流用）及びドローン飛行体験
- ・捜索支援活動等のドローン実証事例紹介等

【奥大和地域に所在する診療所見学ツアー】

- ・十津川村に所在する診療所等を訪問



ドローン研修会

○地域デジタル化戦略推進事業

スマートフォン等デジタル機器についての相談対応や講習を行うことができる人材を育成
(御杖村、明日香村、吉野町)

デジタルデバイドの実証事業を希望する市町村を支援（下市町）

○携帯電話等エリア整備事業

採算性の問題により民間事業者が単独では整備することが困難な地域において、市町村が行う携帯電話等エリア整備事業に要する経費の一部を補助

